

最高品質のIoTデザインでお客様に新しい価値(Value)を 企業向けシステムの開発で 全国展開をめざす

ビックボイス

ビックボイス（町田市中町、佐々木治郎社長、042・794・7416、<http://www.boisb.com>）は、企業向けシステムの開発を主要業務に、最先端技術の高品質なサービスを安価で提供している。

社員は、国家資格をはじめとする有資格者で、システムのエキスパートが揃う。言語はJava、C言語その他、データベースはオラクルその他、OSはiOS、Android、先端技術に一通り対応可能だ。大手市場企業や官公庁を得意先に、光通信機器製品の構築・保守、業務システムの運用・保守のアウトソーシングの受注、イーサネット・ファブリックによるネットワークの構築・保守、仮想サーバなどにおいて、高品質な技術サービスをご提案する。

同社の特長は、システム開発というエレクトロニクスだけでなく、各種センサー類やインターネット技術を組み合わせたメカトロニクス開発企業でもあること。自社製品として「全自



「全自動冷暖マット」(上段)／「お天気通知ライト」(下段)の模型

動冷暖マット」、「お天気通知ライト」、「全方位360度生体自動検知ウェアラブルロボ」、観光地情報アプリ「Ezo-map」などの開発を手がけ、今後は製造業への提案を進めていくという。

もうひとつ、同社の特長が「多地域展開」である。町田市の本社以外に、平成26年に札幌市、27年に函館市にも拠点を設けた。函館市のR&Dセンターでは、昨年3月の北海道新幹線開通に合わせ、観光客向けスマートフォンアプリ「Hako-map」をリリースした。GPSを利用して、函館周辺の飲食店や観光施設をリアルタイムでウェアラブル連携し案内するアプリである。

今後は、沖縄や北陸地方への進出も検討しながら、U・イターン希望者を募ることで、地方創生や地方発の新しい産業の創造に挑戦していく。



自社サービスを展示会でPRする佐々木社長ほか、社員のみなさん